

# 「清姫の想いを訪ねて」ルートマップ



「熊野本宮大社」「熊野速玉大社」「熊野那智大社」の3社を「熊野三山」と呼び、「熊野古道中辺路」によって結ばれている。



## グルメ



**A 釣鐘饅頭**  
「安珍清姫物語」にちなんで作られた焼き饅頭で、道成寺門前で買うことができる。

(有)あんちん  
所 日高川町鐘巻1745-3  
TEL 0738-24-1500

松屋本舗  
所 日高川町鐘巻1753  
TEL 0738-22-2482

(有)レストラン雲水  
所 日高川町鐘巻1745-1  
TEL 0738-22-2963



「清姫が大蛇と化して渡った」と言われる清流「日高川」が目の前に広がっており、店主自らが作る地元新鮮食材にこだわった料理が楽しめる。

**B お宿 喜作**  
所 日高川町平川894-1  
TEL 0738-52-0988



「清姫の墓」の近くにある古民家風のお店。清姫淵などの自然に囲まれた中で食べる料理は格別である。

**C 清姫茶屋 まんだら**  
所 田辺市中辺路町真砂1-2  
TEL 0739-64-1340

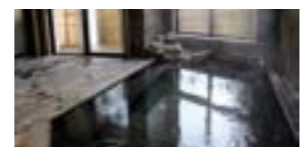
## ちょっとひといき グルメ&温泉情報



**かわべ温泉きさくの湯**  
所 日高川町平川894-1  
TEL 0738-52-0988



**中津温泉あやめの湯「鳴滝」**  
所 日高川町高津尾852-1  
TEL 0738-54-0488



**きのくに中津荘**  
所 日高川町高津尾1049  
TEL 0738-54-0082

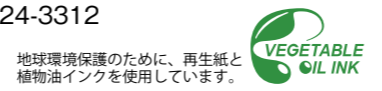
# 清姫の想いを訪ねて



世界遺産「熊野古道」にまつわる「安珍清姫物語」。一途な愛を貫き、葛藤の果てに、想い人である安珍を恋の炎で包みこんでしまった清姫の想いを感じてみませんか？



【問い合わせ先】 清姫ツアー実行委員会事務局 (日高振興局地域振興部企画産業課内)  
〒644-0011 和歌山県御坊市湯川町財部651 TEL 0738-24-2911 FAX 0738-24-3312



●清姫終焉の地・道成寺では・・・

牟婁の国真砂の庄司清次の娘・清姫は、奥州から熊野詣に来た美僧・安珍に一目惚れし、求婚したものの、安珍は清姫の想いに応じてくれません。清姫の想いを断りきれない安珍は、熊野からの帰りに再び立ち寄ると、その場しのぎの約束をしてしまいます。しかし、約束の日になっても安珍が現れないため、清姫は道すがらの旅人に安珍のことを尋ねると、素通りして帰ったというのです。騙されたことを知った清姫は、怒りとも悲しみともいえない表情で、なりふり構わず安珍を追いかけます。

やっとの思いで安珍に追いつき問質しますが、安珍から人違いと言われ、清姫は怒り狂います。清姫から逃れるために安珍がお経を唱えたと、清姫の目がくらみ、その隙に安珍は逃げることができたのですが、このことが清姫を更に逆上させてしまいました。

日高川まで逃げた安珍は船で川を渡りますが、船頭が安珍の頼みで清姫を乗せなかったため、清姫は大蛇となって追いかけてきます。日高川を渡った安珍は道成寺に逃げ込み、僧の勧めにより鐘の中に身を隠しました。大蛇・清姫は、火を吐きながら道成寺の石段を駆け上がり、鐘に隠れた安珍を見つけると、鐘に巻きついて焼き殺してしまいますが、このことを嘆いたため入水してしまいます。

後日、二人が蛇道に転生した夢を道成寺の住職が見たので、法華経供養を営むと、二人が天人の姿で現れ、熊野権現と観世音菩薩の化身だったことを住職に明かしたと伝えられています。

●清姫の故郷・真砂の里では・・・

「安珍に裏切られたことを知った清姫は、悲しみの果てに清姫淵に身を投げ、その一念が怨霊となり、道成寺まで蛇身となって安珍の後を追ひ、鐘に隠れた安珍を焼き殺した。」と伝えられています。



④ 清姫の井戸

「清姫が捻木の杉から安珍を追いかけている際に、この井戸の水でのを潤し、生気を取り戻して道成寺まで走り去った」と言われている。



所 田辺市古尾25-21  
TEL 0739-22-1883



⑤ 袖摺岩

「清姫が安珍を追いかける際に袖を摺った」と伝えられている。また、昔は大きな一つの岩であったが、現在はいくつかの大きな岩に砕けた状態で残っている。



所 みなべ町塚地先



⑥ 清姫の腰掛石

「安珍が唱えたお経により目がくらんだ清姫が、この石に腰を掛けて休息を取った」と言われている。



所 御坊市名田町楠井地内



⑦ 草履塚

「松の大木に登り安珍の行方を捜していた清姫が、日高川を渡っている安珍を見つけ、草履を脱ぎ捨て松の枝に掛け裸足になり安珍を追いかけた」と伝えられている。また、「この松に安珍が袈裟をかけて逃げた」という一説もあることから、『袈裟掛けの松』とも言われている。しかし現在、この松は残っていない。



所 御坊市名田町野島地内



① 清姫淵と清姫の墓

清姫淵は「清姫が丈なす黒髪をなびかせながら泳いでいた場所」や、「安珍に裏切られたことを悲観した清姫が身を投げた場所」と言われている。清姫の墓には、『煩惱の焰も消えて今ここに眠りまします清姫の魂』と御詠歌が刻まれた石碑がある。



所 田辺市中辺路町真砂地内



② 一願寺 (正式名称「福巖寺」)

清姫生誕の地である真砂の里の近くにあり、「清姫の菩提寺」と言われている。また、「一つの願い事を必ず叶えてくれる」と言われる「一願地藏尊」が祀られている。



所 田辺市中辺路町西谷575  
TEL 0739-64-1045



一願地藏尊 (俗称「からし地藏」)

第六世住職(鉄凌道林和尚)を祀った地藏尊。自らの臨終を悟った住職が「死後、地藏尊を作って人通りの多い所へ祀ってほしい。祀ってくれば、一人に一つ願いを叶えて進せよう」と約束したことに由来し、住職の好物であった「からし」と「お酒」をお供えすると「願い事が必ず一つ叶う」と言われている。



③ 捻木の杉

「安珍を追いかけた清姫が、杉の木に登り、はるか前方を逃げ去る安珍を見つけ、その悔しさのあまり枝を捻じ曲げてしまい、そのまま大きく成長した」と言われている。



所 田辺市上野地内



⑧ 道成寺

和歌山県最古の寺で、「安珍と安珍が焼かれた鐘が埋められた」と言われる「安珍塚」など清姫ゆかりの史跡が多数ある。また、同寺を創建したと言われる文武天皇夫人・藤原宮子の「髪長姫伝説」でも有名である。



所 日高川町鐘巻1738  
TEL 0738-22-0543



絵とき説法

縁起堂では、住職が「道成寺縁起」の絵巻物を使い、ユーモアを交えながら、安珍清姫物語を聞かせる。また、絵巻物を使った説法を行っているのは、日本では道成寺だけである。

桜・舞・道成寺

場所：道成寺 時期：3月末

桜が咲き誇る道成寺境内にて、「道成寺もの」等の伝統芸能を鑑賞することができる。＊能楽や歌舞伎などの古典芸能では、安珍清姫物語を題材とした舞台作品は「道成寺もの」と呼ばれている。

供養祭

場所：清姫の墓 時期：4月23日

清姫の墓にて、清姫の霊を慰めるために、地元中辺路町の人々が清姫の供養を行っている。

道成寺会式

場所：道成寺 時期：4月27日

張り子の大蛇が安珍を追いかけ、体をくねらせ火炎を吐きながら道成寺の石段を一気に駆け上がり、鐘にとぐろを巻くといった安珍清姫物語を再現した「ジャンジャカ踊り」等が行われる。

清姫まつり

場所：富田川河川敷 時期：7月末

中辺路町真砂の富田川河川敷(清姫淵の上流)にて、清姫が籠となって火を吐きながら川を上る姿や、清姫清炎や往松(たいまつ)の火が夜空を彩る姿を見ることが出来る。